

第 1 0 回地区庶務担当理事連絡協議会

と き 平成 25 年 3 月 27 日（水）午後 2 時 30 分～

△森会長挨拶

森府医会長は、冒頭、日本が T P P 交渉参加を土台とし、E U との E P A 交渉、中国・韓国それぞれとの F T A 交渉など、今までにないグローバルな経済発展を遂げようとしているとして「皆保険制度を守るために T P P 参加反対とばかり言われていられない時代になってきている」とし、日本の医療と医療制度を守るための現実的な対応として、何を堅持し、何を我慢するかという議論に入らざるを得ないとの見解を示した。また、「ダヴィンチ」によるロボット手術の世界的な広がりを受け、先進医療の発展による保険収載の拡大で財源が不足することへの懸念を示し、医療制度を維持し進めていくために、いかにバランスを取りながら財源を確保するかが、大きな課題であるとの見方を示した。

また、府医としても国民に十分な情報を提供するとともに、国民と一緒に取り組んでいく姿勢が大切であると示し、それには政治力も必要であると説明。日医連が羽生田日医副会長を参議院選挙の組織内候補として擁立したことに触れ、一人でも多くの方に名前を覚えていただくことが自民党内名簿の順位につながることを強調し、現在の厳しい財源確保の中で大きな力を得るためにも、組織内での活動を活性化していく意向を示した。併せて、5 月 17 日（金）に羽生田候補が京都府を訪れることから激励会を開催するとして、全ての医師会員が参加する方向で準備していただきたいと強力を呼びかけ、挨拶を締めくくった。

△報告ならびに協議事項

1. 一般社団法人への移行並びに住所表示変更について（松井理事）

一般社団法人への移行については、予定通り 4 月 1 日付で移行する予定であると報告。併せて二条駅前土地区画整理事業の完了に伴い、住所表示も変更することを報告した。

2. ロコミサイトの注意喚起について（松井理事）

一部会員の医院宛に、「医院にとってプラスとなる評判をロコミサイトに書き込むサービスを行っている」と謳う業者から、サービスを案内する旨の F A X が送信されていることを紹介。ロコミサイト自体は、原則として「医療に関する広告」の規制対象とはならないものの、思わぬトラブルに巻き込まれる可能性も考えられるとして、慎重に判断していただくよう依頼した。

3. 最近の中央情勢について（城守理事）

平成 25 年 2 月下旬から平成 25 年 3 月中旬にかけての社会・医療保険状況について、社会保障制度改革国民会議での議論や、T P P 交渉参加表明についての話題を中心に説明した。

4. 新年度の予防接種について（藤田理事）

まず、予防接種法改正による7ワクチンの定期接種化の署名について、府医として22,807名分の署名が集まったことを報告し、協力に感謝した。署名の効果もあり、4月1日からヒブ、小児用肺炎球菌、HPVが定期接種化されることを報告した他、副反応報告制度の法定化、BCG接種時期、日本脳炎の特例措置対象者を追加など、予防接種法改正に伴い各種改正があることを報告した。また、京都市における取り扱いとして、日本脳炎の定期接種対象年齢を3歳以上から6か月以上に変更したが、混乱を避けるために市民への広報はあまりしないこと、母子健康手帳別冊や協力医療機関ステッカーを改正することなどを併せて報告した。また4混ワクチンについては、平成25年度は十分な供給量が確保される見通しを示しながらも、平成24年度同様流通の中でワクチンが足りなくなる可能性を示唆し、会員の迷惑にならないよう各分野の担当者に対応を求めていく意向を示した。

中京東部医師会から、生ワクチンの他にも接種間隔を見直すという話が出ていたとして、その後の協議の進捗を問う声に対し藤田府医理事は、立ち消えてはいないがまだ検討段階であるとの見解を示した。

5. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）

4月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し、多数の参加を呼びかけた。